

FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

先週の金曜日（8月28日）日本の首相である安倍総理大臣が辞任を表明しました。

一方、アメリカ合衆国では、今年の春先から大統領を選ぶ選挙の準備が徐々に盛り上がりつつあります。

最近のニュース等を見ていて、「一国のリーダーを選ぶ」という目的は同じなのに、その手段（方法）はこれほど違うものなのか？と思っただ方は多いのではないのでしょうか。

米国では半年くらいの時間をかけて、11月3日に投票となる一方、日本ではたったの2週間。

日本とアメリカ、やっぱり違いますね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

最近サブスクサービスが話題です。動画や音楽以外にも様々な種類があります。お金の節約と生活を豊かにするために上手に使いたいですね。

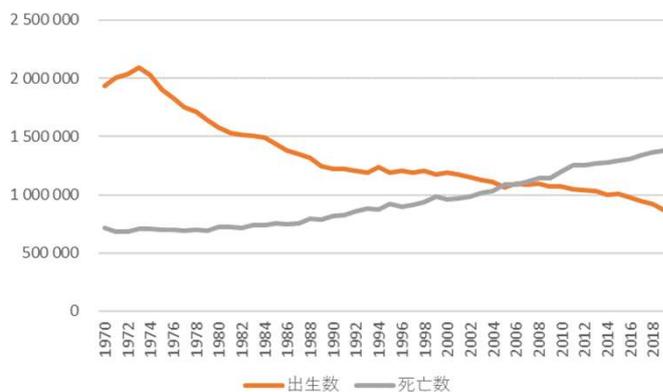
「1億2427万1318人」

先月も人口減少に関するニュースがありました。

2020年1月1日時点の日本人の人口は、**1億2427万1318人**、前年比50万5046人の減少、人口減少は11年連続になりました。

50万5046人の内訳は、自然増減が、51万1998人の減少（亡くなった人数と生まれた人数の差）と社会増減、6952人増加（国内への転入）でした。

下図は1970年以降の出生数と死亡数の推移を表しています。人口の自然減が始まって15年が経過しました。



しばらくはこの傾向が続くことが予想されています。将来必要となる年金や医療費などを考えるときにはこのことを踏まえた準備が必要になります。



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250
090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2020年6末	400,000	408,701	412,579	415,797
2020年7末	410,000	430,532	431,141	432,807
2020年8末	420,000	454,829	449,567	445,812

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

株式市場は、コロナ前に回復

	日経平均	NYダウ	ドル円
7月末	21,710.00	26,428.32	105.93
8月末	23,082.35	28,430.05	105.90
	6.32%	7.57%	

2月後半から始まったコロナ暴落ですが、8月末時点で株価はコロナ前の高値に戻りました。



図は年初来からの米国を代表する3つの株価指数（NYダウ、S&P500、ナスダック）を表しています（8月25日現在）。アップルなど巨大IT企業の比率が高いナスダックは、コロナ前を大きく上回っています。

株価をけん引しているのは、GAFに代表される大手IT企業で伝統的な企業はしばらく厳しい状況が続くようです。

8月22日の日本経済新聞によると世界1万社のうち3割以上が4月～6月期に減収に、3割以上の減収になった企業は24%とリーマンショック時の21%を上回った、とあります。

回復期待と急回復への不安が入り混じる値動きになることも予想されますが、日々の値動きや値動きを解説するニュースに惑わされずに積立を継続することが長期の資産形成では大切です。

当コラムは、商品選択の考え方、価格変動やニュースなどにどう対応するべきかについての一つの考え方をお伝えするもので、特定の運用商品、運営管理機関を推奨するものではありません。また、特定の商品の将来のパフォーマンスを約束するものでないことをご理解の上、ご覧ください。記載の情報（税制・社会保障制度・金融商品・マーケット・価格情報等）は発行日時点での情報に基づくもので将来は変更になることもあります。数値は公表されているデータに基づき当社にて計算・加工をしていますが、正確性を保証するものではありません。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

解約するタイミングはどのように考えればよいですか？

積立を続けてきて値上がりした投資信託をいつ解約するか迷う方も多いと思います。今月は部分解約を継続して年金のように受け取る方法について検証してみます。

貯めた資金1000万円を株式投資信託（先進国株式インデックスファンド）で運用しながら毎年5%づつ引き出す。この投資信託の1999年末からの値動きは以下ようになります。



ケース 1

リーマンショック前の高値（2007年6月末）に1000万円の残高でスタート、その後、毎年末に残高の5%を引出したケースを表しています。



2007年末に約46万円を引出し、その後暴落し2008年末の評価額は約396万円、大幅に値下がりしましたがその5%の約19万円を引出しました。2009年2月末には347万円になってしまいました。

大切な老後の資金1000万円が65万円ほど引出しはしましたが、347万円になってしまったのです。

ところがそれでも継続した結果、2020年7月時点で、引出し総額約446万円、資産額約793万円、合計額は約1239万円となりました。

ケース 2

ITバブル崩壊前の高値（1999年12月）に同じく1000万円でスタートした場合です。



2003年2月には資産残高は約560万円（引出し3回、合計約124万円）になってしまいました。2007年にかけて回復するもリーマンショックで約351万円（これまでの引出し合計約349万円）になりました。2020年7月現在の資産残高は約802万円（引出し総額約733万円）となりました。

少しずつ引出しを行い、運用を長く続けることで、このように非常に悪い時期にスタートしたとしても、結果として資産寿命が延びることになります。

積み上げた資金をまとめて使う予定がないのであれば、解約のタイミングを計ろうとせずに、このように定率で引き出していくのも一つの方法ではないでしょうか？

ちょっと気になるお金のコラム

映画や音楽などで月額定額で見放題、聞き放題、というサービスを利用している方も多いのではないのでしょうか？

このように月額定額のサービスをサブスクリプション（サブスク）といいます。最近利用者が増えているようです。

雑誌や音楽、動画などのお馴染みのサブスク以外にもいろいろな種類のサブスクがあります。

子供向けのサブスク

子供は成長が早いのでおもちゃや服を購入してもすぐに飽きてしまったり着れなくなってしまう。定額サービスを利用するメリットは大きいかもしれません。

絵本のサブスクでは、アプリ（数百円）で読み放題のサービス、定額で毎月絵本を送ってくるサービス、年齢ごとにお勧めを送ってくれるサービス、専門家が選んで送ってくれるサービス、など様々な種類があります。

おもちゃも年齢によって楽しめるものが違いますし、飽きてしまうこともあります。月に3000円～4000円で複数のおもちゃが定期的に来くのも便利ですね。



Yシャツのサブスクも

メンズ、レディースの洋服もサブスクサービスがあります。自分で買うと同じようなものになりがち、という人も多いのではないのでしょうか？スタイリストが選んでくれるサービスもあります。

「購入」ではなく「利用」なのでちょっと冒険もできるかもしれませんね。

これは私も驚いたのですが、Yシャツの定額利用サービスもあります。月に20枚のYシャツが送られてきて、着たらそのまま送り返すと翌月クリーニング済みのYシャツが送られてくるようです。



バッグのサブスク

定額で毎月違うブランドバッグを利用できるサービスもあります。ブランドバッグを手軽に使えたり、気分や用途に応じてバッグを変えることができるメリットは大きいかもしれませんね。

その他、香水や時計など様々なサブスクがあります。

「〇〇 サブスク」と検索すると様々なサブスクが見つかります。気に入ったサブスクがあれば上手に使って、生活を豊かに、そしてお金の節約もできると良いですね。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を申し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<https://fp-matsumoto.com/contact/>



 **FAX:050-3730-0380**



個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内